

2021年度二次分析研究会 参加者公募型 研究成果報告会

「子どもの生活と学びに関する親子調査」(パネル調査)を用いた 親子の成長にかかわる要因の二次分析

ベネッセ教育総合研究所と東京大学社会科学研究所の共同研究「子どもの生活と学び」研究プロジェクトで実施している「子どもの生活と学びに関する親子調査」を使用データとした二次分析の成果を報告します。

■日時/場所 2022年 2月 27日 (日) 10:00~17:00 / オンライン開催(zoom)

■プログラム

10:00- 開会の挨拶

第1部 10:05-11:30 ◆コメンテータ 森いづみ (上智大学)

- (1) 両親の帰宅時間が子どもの成績や母親の両立葛藤に与える影響
—「仕事と教育の両立」問題の実証的研究— [中野円佳/東京大学]
- (2) 母親の就労と学校外教育利用—子どもの成長段階を考慮したパネルデータ分析より— [鎌田健太郎/東京大学]
- (3) 厳しいしつけや教育を肯定する親と子どもの育ちについての研究 [眞鍋隆祐/彰栄保育福祉専門学校]
- (4) 子どもの学業成績と母親の進学期待 —パネルデータ分析による相互関係の検討— [鳶島修治/群馬大学]

第2部 13:00-14:10 ◆コメンテータ 香川めい (大東文化大学)

- (1) 親の教育意識が教育費負担と進路選択に及ぼす影響—進学を支える家計に無理があるのか— [王帥/東京大学]
- (2) 高校生の価値志向が性別専攻分離に与える影響に関する分析 [増井恵理子/滋賀大学]
- (3) デジタルメディア利用が学業成績に及ぼす影響 [田島祥/東海大学]

第3部 14:15-15:25 ◆コメンテータ 都村間人 (神戸学院大学)

- (1) 高校生アルバイトは世代間再生産にどのように影響するか? [鈴木健一郎/名古屋大学]
- (2) 学習方略の不平等—中高一貫トラックと親の教育的関わり合いに着目して— [瀬戸健太郎/早稲田大学]
- (3) 小・中・高校生の学校外の読書時間についての横断的・縦断的分析
—4時点3年間の大規模追跡調査に基づく検討— [猪原敬介/北里大学]

第4部 15:30-16:40 ◆コメンテータ 岡部悟志 (ベネッセ教育総合研究所)

- (1) 子どものリーダーシップの変化に影響を与える初期要因
—子の性別、親の学歴・職業に着目して— [伊倉康太/一橋大学]
- (2) 思春期の自己肯定感の発達とその規定因—親の養育態度に注目して— [水野君平/北海道教育大学]
- (3) 学年によって意見表明機会の効果は異なるか—投票意向・政治的有効性感覚の社会化— [太田昌志/早稲田大学]

16:40 - 閉会の挨拶

■参加申込は、東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センターのWEBサイトをご確認ください。

